



われらの森山校

志布志市立森山小学校だより NO.5 令和7年9月19日発行
学校ホームページ <https://424.ciao.jp/moriyama-els/>



ナンチクさん提供の黒豚給食(9月3日)

志布志の未来は安泰です

校長 古石美紀

皆さんは「今時の高校生」にどんなイメージをもっていますか。最近流行の AI を使って質問してみたところ、最近の高校生は、

・「みんなと同じ」よりも「自分らしさ」を大切にする傾向が強く、ファッションや趣味、SNS の使い方にもその姿勢が表れている。

・高校生活を「勉強する場所」と捉える一方で、「好きなことに打ち込む」「将来の目標を見つける」ことも重視している。通信制高校やオンライン学習など、従来の枠にとらわれない学び方を選ぶ生徒も増加中。

・「自分らしさ」「効率」「共感」「映え」「推し」などをキーワードに、柔軟で多様な価値観を持って生活している。

と教えてくれました。なるほど。時代に即してライフスタイルが変わってきたのと同様、価値観の変化もみられる。けれど、いつの時代も青春を謳歌し好きなことに熱中する姿は変わらない。でも、自分の頃より確実に現実的な考え方をしているようだな…と感じたところです。なぜこのようなワードを検索したかということ…、出会った「今時の高校生」たちがとても前向きで、自分の考えをしっかりと持っていて、高校生ってこんなに素敵だった？と感動したからです。

南日本新聞の記事や志布志市の市報でも紹介されたので多くの方々に知っていただきましたが、本校では今年度、異世代とのコミュニケーションを互いに学び、社会性を身に付けてほしいという目的から志布志高校との交流学习を計画し、協力を仰ぎました。

本校で「森山小学校の児童と交流してみませんか？」というチラシを作成し志布志高校に掲示。交流日は7月の第2土曜日。高校は休日な

ので完全な校外活動・ボランティアになります。希望者が2～3人いればいいなあという思いだったのですが、なんと10人の応募があったのです。志布志高校の先生方の御協力もあったかと思いますが、自主的に希望する生徒がこんなに！と驚きました。そして集まった生徒さんたちの意欲的なこと！話を聞くと、「将来教員を志望しています」「子どもが好きなんです」「探究学習を深めるために」とそれぞれの応募動機を教えてくださいました。各教室で授業の手伝いをしながら積極的に子どもたちに話しかけ、ちょっと引っ込み思案の森山っ子とたくさんコミュニケーションを取ってくれたので交流学习の目的をしっかりと叶えることができました。

そして、志布志高校体育祭振替休日の9月8日。休日にもかかわらず、2回目の交流に参加した高校生が「先生」として算数の出前授業を行いました。そこで感心したのが彼らの授業準備です。自作のプリント、画用紙で作った教具、ノートにびっしりの授業構想、具体物の準備等々、この1時間をどのように進めるか、自分たちなりに試行錯誤してくれた様子がよく伝わりました。子どもたちの前に立った高校生先生たち、教えることの楽しさも難しさも感じてくれたのではないかと思います。

今、教員不足が問題になってますが、この高校生のような子たちがいれば大丈夫！鹿児島県の教育をきっと支えてくれる！と心強く思いました。そんな高校生を育てたのは志布志。志布志の教育の素晴らしさも改めて感じました。

うん、やっぱり、志布志の未来は安泰です！